



下田市議会だより

6月
令和4年
(2022)
No.82

- P 2 ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻に抗議する決議
- P 3～ 産業厚生委員会 令和4年度予算審査報告
- P 5～ 総務文教委員会 令和4年度予算審査報告
- P 7～ 市政を問う一般質問
- P 10 議案の審議結果

「自然のエネルギー」

□ 2月臨時会総括

2月7日、臨時会が開かれ、一般会計補正予算に関連する専決処分2件、下田中学校整備工事関連の契約議案3件が上程され、それぞれ承認、可決されました。また「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願は賛成少数で不採択となりました。

12月の専決補正予算では、コロナ対策として住民税非課税世帯に10万円を支給(給付件数は約3,200世帯)するため、5億6,108万円(全額国庫支出)が計上されました。

1月の専決補正予算では、ふるさと納税寄附金5,000万円の増が主なものでした。

下田中学校整備工事(建築工事、機械設備、電気設備)請負契約の一部変更では、556万8,200円の増となりました。

□ 3月定例会総括

3月定例会は、3月3日から18日までの16日間を会期として開催されました。議案は条例9件、補正予算6件、新年度予算10件を含め

28議案が上程され、内26議案が常任委員会に付託されました。また、議員発議は4件が提出され、①ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻に抗議する決議②下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の2件が可決されました。一般質問には6名の議員が16件に関して行いました。

3月定例会の主要案件となる令和4年度当初予算は、一般会計110億4千万円(前年度比0.8%減)と引き続き高水準となり、特別会計90億2,821万6千円と合わせ200億6,821万6千円であり、会計間重複額を考慮した総額は187億2,268万3千円となります。なお、令和4年度末の公債残高は188億7,432万円の見込みとなります。

歳出を伴う主要な事業は、○新型コロナウイルスワクチン接種事業に9,366万8千円 ○庁舎建設事業関係4,350万円 ○教育環境の整備8,316万1千円 ○南伊豆地域広域ごみ処理事業5,660万7千円等であり、詳細は各委員会報告をご参照下さい。

決 議

令和4年3月3日、下田市議会3月定例会において下記のとおり決議しました。

ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻に抗議する決議

プーチン大統領は、2022年2月24日、一方的に「独立承認」したウクライナの東部ドネツク、ルガンスク地域をはじめ、3方向からロシア軍を侵入させた。ウクライナ各地の軍事施設、首都キエフ、オデッサ、ハリコフへの攻撃を始め、多くの人命が奪われている。

他国の主権、領土を侵す暴挙である。国連憲章に基づく国際平和秩序そのものを武力により根底から突き崩すものである。

ロシア連邦は、直ちに侵攻を止め、ロシア軍をウクライナ領土から撤退させ、軍事作戦を直ちに中止するよう強く抗議する。

下田市は徳川幕府の末期、ロシア帝国のプチャーチン提督がディアナ号1隻、乗組員488人で来航し、1855年日露和親条約を締結した地である。その縁から、本市では毎年オロシャ祭を開催し、両国の子どもの友好と交流をはかっている。

下田市民は、古くより友好と交流を深めてきたロシア国民にむけて、ロシア連邦とウクライナの平和を強く望むとともに、下田市議会は2009年12月11日の平和都市宣言に基づき、全世界におけるいかなる戦争にも反対する。

以上、決議する。

令和4年3月3日

ロシア連邦大統領 ウラジーミル・プーチン 殿

静岡県下田市議会



産業厚生委員会所管の
主な令和4年度当初予算項目です。



経済対策 新型コロナウイルス感染症対策 計3,680万円

国の地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大の防止や市内経済への対策を図るものです。

感染防止対策経営改善事業	施設・設備等の改修等への補助	1,000万円
プレミアム付商品券発行事業	プレミアム率25%、5,000円券×1万冊	1,300万円
中小企業販売力強化支援事業	通販サイト開設、ECモール出店等への補助	100万円
経済変動対策特別資金利子補給	新型コロナ対応枠への利子補給	1,280万円

住環境整備

市営住宅維持管理事業 計6,757万6千円

下田市が管理する市営住宅（丸山・上河内・大沢）の住環境を維持するための予算です。今年度は、上河内と大沢にある市営住宅の外壁改修工事を5,700万円で実施します。



【上河内市営住宅の外壁現状】

耐震改修支援事業 計3,097万6千円

想定される巨大地震の減災対策への予算です。木造住宅の耐震診断や耐震改修、ブロック塀の改修・撤去、輸送路及び避難路を確保するための耐震改修等に対する補助金が主なものです。

観光振興

下田市観光協会補助金 計6,650万7千円

下田市観光協会が実施する、観光・宿泊業の経済活性化を図るための各種事業に対する補助金です。

観光振興に対する通常補助分	3,200万円
外国人観光客案内のための英語対応スタッフ分	150万円
インターネット旅行会社等での広報宣伝分	200万円
市内3か所のビーチライブカメラ維持分	200万円
令和3年7月から採用した観光アドバイザー分	280万7千円
コロナ対策の宿泊クーポン・ポイント付き旅行商品の販売等実施分	1,500万円
コロナ対策のデジタルクーポン・デジタルスタンプラリー等実施分	1,120万円

世界一の海づくり事業 計6,888万2千円

夏期海岸対策協議会が実施する、安全・安心な海水浴場運営にかかる監視費や清掃費等への補助金3,620万円、新型コロナウイルス感染症対策への補助金2,140万円が主なものです。



総合的な安全性が評価され、白浜中央・白浜大浜・外浦・多々戸浜・入田浜・吉佐美大浜海水浴場の6か所が、日本ライフセービング協会の認定海水浴場に認定されました。



【外浦海水浴場】

外ヶ岡交流館管理運営事業 計3,382万5千円

下田市観光協会への指定管理料2,008万円が主なもので、その他に西面外壁とエレベーターの修繕等に382万7千円、ウッドデッキ上にオーニング屋根の設置を650万円で行います。また、みなとまちゾーン活性化の一環で、旧町内への回遊性を高めるため電動キックボード実証実験を行います。

水道事業 加圧式給水車購入 2,000万円

これまで災害等に給水が必要な場合、トラックへ給水用タンクと発電ポンプを積み込み対応していましたが、この加圧式給水車を導入することで、衛生面及び作業効率の改善が図られます。



下水道事業 処理場改良事業費 計9,934万9千円

武ガ浜ポンプ場内の沈砂洗浄機更新2,000万円と受変電設備更新4,000万円、公共下水道事業ストックマネジメント※基本計画策定業務委託2,800万円が主なものです。

※ストックマネジメント：長期的な視点で施設全体の老朽化を考慮し、優先順位を付けたうえで、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設管理を最適化すること。



【武ガ浜ポンプ場内現地視察】

感染防止 新型コロナワクチン接種事業 計9,366万8千円

3回目の追加接種等にともなう、医師・看護師への謝礼、予約コールセンター業務委託、個別接種に対する業務委託が主なものです。事業費については、国庫負担金・補助金で100%充当されます。

移住交流 移住・交流居住推進事業 計1,434万9千円

国が取り組む地方への移住就業を支援するための補助金、空き家バンクや移住相談にかかる業務委託が主なものです。なお、今年度は移住交流の推進にあたり、移住コーディネーターの役割を担う、新たな地域おこし協力隊が活動します。



注目

下田市で活動する地域おこし協力隊は、豊かな里山づくり部門・中心市街地活性化部門・スポーツ振興部門・アウトドアスポーツ振興部門・移住コーディネーター部門の計5名となります。

環境対策

焼却場管理事務 計2億4,930万8千円

下田市営じん芥処理場（清掃センター）を管理していくための予算です。処理場運営の長期包括委託に1億4,240万円、焼却灰等の処理業務委託に4,477万円が主なものです。ダイオキシンやばいじん等を除去するための集じん器（※バグフィルター）は4～5年毎に交換が必要で、今年度に6,110万円と来年度に5,760万円の2回に分け、改修工事が実施されます。

※バグフィルター：ろ布と呼ばれる織布や不織布を円筒状の袋にして吊り下げ、処理ガス中の煤じんをろ過し捕集するもの。

広域ごみ処理施設整備事業 計5,660万7千円

下田市と南伊豆町、松崎町、西伊豆町が広域での整備・運営を計画するにあたり、事業を推進するための予算です。なお、施設整備基本計画策定業務委託、地質調査業務委託、PFI等導入可能性調査業務委託、生活環境影響調査業務委託については、現下田市営じん芥処理場を事業用地と仮定し業務を進め、生活環境影響調査（約1年半）の結果を踏まえ、事業用地の適否を判断します。

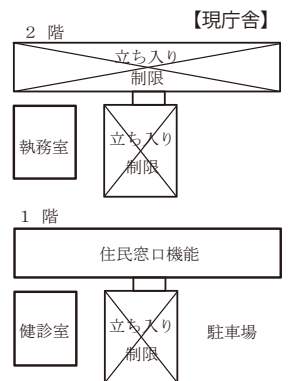


総務文教委員会所管の
主な令和4年度当初予算項目です。

総務文教委員会

庁舎建設事業 現庁舎耐震補強と稲生沢中学校改修設計

令和3年度の調査により現庁舎の危険度が数値化された事から、倒壊リスクへの早期対応として市民窓口のある西館1Fと検診室がある別館を補強します。また稲生沢中の耐力度調査により庁舎として使えることが確認できたことから、改修工事の後に市民窓口以外の機能を先行移転する計画です。令和4年度予算では現庁舎補強設計と工事2,350万円、旧稲生沢中学校舎改修設計2,000万円、新築棟の設計等支援業務委託に100万円です。完全移転までの来庁市民と職員の安全を確保しつつ、中学校校舎の再利用により、新庁舎の総事業費を15～25%程度削減するものです。新築棟については令和4～5年度中に基本・実施設計を行い、令和8年開庁を目指すものです。



公共用地取得特別会計 旧下田グランドホテル跡地購入予算

■公共用地取得特別会計補正予算100万円

旧グランドホテル跡地の購入について、令和3年度12月定例会本会議で否決された案件の再上程です（経緯は議会日より81号参照）。土地の購入と建屋の解体のみならず、平時には市民の憩いの場とし、災害時には防災拠点としての活用も視野に今後、整備計画を立てるためのものです。



今後も市民の生活環境と景観・風致の維持改善に努めるよう要望しました。



【旧下田グランドホテル外観(ペリーロードより)】

学校教育 中学校バス通学補助・稲梓中学校解体設計等

■下田中学校への通学バス2台分の運行業務委託金は1,931万9千円で、これにより平日と部活動実施休日等1日3便×各2コースの送迎運行と、大会参加や校外学習等の行事での活用が期待されます。

■稲梓中学校解体設計に350万円です。閉校する3中学校のうち、昭和37年建築の最も古い稲梓中を先行して解体します。令和4年度設計、5年度解体を予定していますが、残る体育館と跡地の利用方法については今後の検討課題です。■下田中学校に新設されるサーフィン部の活動支援業務委託として52万3千円です。休日のサーフボード運搬支援等が主な業務です。平日は敷根公園プール等で活動する予定としています。



小学校のトイレ修繕費で450万円、その他修繕費が440万円です。小学校トイレの洋式化は現在57%とまだ低く、また校舎の雨漏りや遊具の修繕要望が多いため、教育環境整備に力を入れるよう要望しました。また安全安心な通学路の整備を要望しました。



広報事業 ホームページデザイン変更等 1,081万3千円

ホームページやメール配信サービスは今や最も重要な情報発信ツールとなりましたが、多すぎる情報が整理されずに使いづらくなっていたことが問題でした。この度ホームページデザイン変更業務委託700万円を計上し、これにより得たい情報の得やすさや早さの向上が期待されるところです。

グローバルCITYプロジェクト 国際交流推進事業等

グローバルとは地球規模・世界規模を意味するグローバル (Global) と「地元・地域」を意味するローカル (Local) という2つの英単語を組み合わせた造語です。下田市は市制50周年を契機に、持続可能な魅力ある地域を構築するために、このまちの特異な国際性と地域性を存分に活かしたまちづくり「グローバルCITYプロジェクト」を始動しました。魅力的な教育環境・多彩な交流環境・官民連携の協働環境を構築する事業が各課で実施されます。あらゆる多様性と地域性を併せ持った「グローバル人材」を育成し、新しい未来の下田を創出しようというものです。



庁内横断の一大プロジェクトですが産声をあげたばかりです。やがて大きく成長し、将来のまちづくりを担う人材と、まちの魅力を世界に発信できる人材の育成が期待されます。

生涯学習・文化振興 市民文化会館改修工事・まちじゅう図書館等

下田市民文化会館は、築30年以上が経過しますが、下田市のみならず賀茂地区唯一の大型ホールを有する総合文化施設であり、地域の文化芸術活動と発信の拠点施設です。天井落下防止・駐車場改修・客席修繕等施設改修と、空調・舞台装置・音響等の機械設備の更新により長寿命化を図るため、改修工事に3億890万円が計上されました。工期は令和4年9月～令和5年3月までを予定しており、この間は使用出来ません。



図書館については建設候補地を検討するための「図書館整備計画基礎調査業務」を160万円にて委託します。また図書館を補完する機能として、同時に読書をより身近になってもらう施策として「まちじゅう図書館」が始動します。市内店舗等に図書館の本を貸し出し、読書場所を増やす取り組みで、予算は消耗品費等20万円です。



文化芸術活動の発表等、市民の多様な活躍の場づくりと高齢者の生きがいづくりに今後ますます活用される施設となるよう、また指定管理者である下田市振興公社は、今後ますます自主事業等を通じて利用率を上げるよう、当局に要望しました。

新型コロナ感染症支援 住民税非課税世帯等臨時給付金他

新型コロナ感染症支援策として、住民税非課税世帯に1世帯当たり10万円の現金給付を行う事業の令和4年度分の予算で1億9,650万円です。また新規事業の「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業」は791万7千円です。これは下田市社会福祉協議会により貸付金等が終了した方への自立支援金です。



コロナ禍の急変により困窮した世帯等を取りこぼすことが無いように要望しました。

防災関係事業 事前災害復興まちづくり計画策定業務委託 520万円

事前復興計画とは、起こりうる自然災害による被害と混乱を想定することで、あらかじめ地域の特性と住民の意向に応じた復興のパターンを検討・共有しておき、また行政はとるべき行動や施策を予期しておくことで、発災後に早期かつ着実に復興に着手できるよう、その方針や進め方等を平常時から市民・行政・事業者等で共有しておくためのもので、東南海地震が危惧される当地にとっては極めて重要で、令和4年度～5年度の2か年で策定されます。策定にあたっては地域の協力が不可欠であり、市民の皆さまには積極的な関わりをお願いするものです。

行政情報化推進事業 スマートフォン講座・購入補助等 1,385万2千円

令和3年9月1日、政府はデジタル庁を発足させました。デジタル技術とデータ資源を活用し、行政サービスの向上と効率化を図り、またいつでもどこでも誰でも社会に参画できる、そんな社会を目指すとしています。

誰一人取り残さない、
人に優しいデジタル化を。

娘も孫も連絡くれるわ☆
知れば知るほど便利ね～

旅行の予約にカメラ
趣味の動画も見放題



同様に下田市でも行政機構と行政サービスのデジタル化（ICT※とDX※）を進めています。地方と都会の格差を無くす手段として期待され、また新たな産業や生活・観光スタイルの構築が模索される中で、懸念されるのはこれらテクノロジーの恩恵にあずかれない高齢者等との「デジタル格差」です。デジタル格差を無くし、市民生活の質と利便性の向上に寄与するべく、下田市では「高齢者向けスマートフォン講座」の開催及び「高齢者スマートフォン購入費補助金」を創設しました。1人1台までで最大1万円の補助です。お誘い合わせの上、ぜひご利用ください。 ※ ICT：情報通信技術 ※ DX：デジタル革新による優位性

市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

一般質問

検索



渡邊 照志 議員



【動画】

旧下田グランドホテルの取得について



【会議録】



市が取得するための可否を3月末までに示さなければならず、3月議会で予算が通らなければ、市で対応することが半永久的に不可能になることを踏まえ、当局からの説明が不足であると感じた事業計画に関し、納得できる回答を得るため、以下の項目を質問した。

- ①破産管財人との契約の手続きと段取りの是非
- ②11月に議会に対し取得の意向を説明後、12月議会に取得費用100万円の補正予算を即座に計上

した理由

- ③現地調査の目的及び解体費用に大きく関わるアスベスト使用の再調査
- ④取得後の解体工事と整備計画の財務計画及び工期
- ⑤民間の事業参画の有無
- ⑥国、県補助の可能性
- ⑦旧下田グランドホテルが原因で事故が起きた場合、下田市の責任になるとのことだがその理由
- ⑧廃業している市内3ホテルの今後の対応
- ⑨一般的に破産した場合の固定資産税等の取り扱い

矢田部邦夫 議員



【動画】

先行移転を含む新庁舎・旧グランドホテル取得・ 広域ごみ処理事業



【会議録】



① 現庁舎の耐震補強及び先行移転 を含む新庁舎建設について

現庁舎は、将来解体するのなら耐震補強はムダになると思います。稲生沢中学校改修工事設計業務委託から中学校校舎改修工事に繋がる費用も、新庁舎建設工事を進めるのだから予算計上する必要がないと訴えました。

託から中学校校舎改修工事に繋がる費用も、新庁舎建設工事を進めるのだから予算計上する必要がないと訴えました。

② 旧グランドホテル取得について

コロナの真ただ中、新庁舎建設を延期、先延ばしたにも拘わらず、また、市の財政状況を考えると取得するのは、今の時期ではないと訴えました。

③ 1市3町による広域ごみ処理事業について

段取りに問題があり進め方の順序が逆で、先ず地元の数根・六丁目・旧岡方村の住民の方々、新下田中学校・認定こども園へ通う子どもさんを持つ親への説明が先で、合意できれば私は予算計上に反対する理由はないと訴えました。

中村 敦 議員



【動画】

ふるさと納税の推進による市内経済活性化と行財政改革、 また関係人口の創出について



【会議録】



育ててくれたふるさとや応援したい自治体に納税したい。そんな思いを具現化した制度が「ふるさと納税」である。全国の受入額は5年で約5倍増と利用拡大が顕著

であるが、返礼品競争の激化が問題視されたりもした。下田市では令和3年度当初予算で2.5億円を見込んだ寄附額を令和4年1月には3億円と上方修正した。この増額補正の成果の要因は何か、今後のさらなる取り組みはどうか。またより具体的な事業へ

寄附が集まる傾向にある中で下田市はどのように追随するのか。さらに地元高校生等と返礼品を開発する等の協働を通じて、若い世代にふるさと納税の存在と意義を伝える施策の必要性を訴えた。

寄附者の賛同を得ながら、地方創生・地域活性のために活用されるべきふるさと納税を、下田市は計画的・戦略的に活用できているか。寄附額10億円を目指して取り組むよう要望した。

沢登英信 議員



【動画】

広域ごみ処理問題 他2件



【会議録】



1. 広域ごみ処理問題

1) 下田市の焼却炉は、築40年経って寿命が迫っているとの見解は、事実と違います。昭和56年度に日量80トン

を燃やせるロータリーキルン、ストーカー炉を10億3千万円で建設しましたが、平成19年度と20年度の2か年をかけ、7億8,160万円で日量58トンのストーカー炉に作り変えております。当時の市長は、新炉であるとパンフレットまで配付しています。建設から14年しか経過しておりません。全国の

平均供用年数30.5年に照らしてもあと16年間使用可能です。使える焼却炉を1基4億8,500万円もの解体費をかけ、ごみにしてしまう計画は反対です。

2) 多くの市民が疑問の声を挙げている居住地に囲まれた文教地区である数根の現在地に倍の1万8,000トンの1市3町のごみを集め焼却する計画は中止すべきです。ごみ焼却炉は、ダイオキシン類やPCB、水銀など有害物質を排出する施設です。建設適地ではありません。当局は、このような問題について耳を貸さず、1市3町の焼却炉建設を進めています。

佐々木清和 議員



【動画】



①12月議会の答弁不足を・内容は市債残高・特別会計を181億円の返済計画の確認②グランドホテル問題、③1市3町広域ごみ処理問題④新庁舎建設問題⑤白浜大浜海水浴場問題⑥市職員のサービス残業と36協定について⑦稲梓中・東中の閉校後の活用について質問しました。グランド問題について報告いたします。観光的にも景観のもちろん撤去出来れば下田にとって理想の解決法です。しかし市には厳しい財政問題が

一般質問は海水浴場問題等7件



【会議録】

存在し提示された事業費が6億から9億・そのうち国県補助が3億～4億5千万円、地方債（市の借金）3億～4億5千万円、しかし国県からの補助は確定されたものでないこと、むしろ現在市内でシャッターを閉めずに頑張っている市民を応援する事が先決と主張した。解体後の跡地のヘリポート案、春日山遊歩道へのアクセス案も提示されているがグランド裏の春日山遊歩道は未整備、アスベスト・PCB対応を考慮するとさらに予算は大きくなることを主張させていただきました。

江田邦明 議員



【動画】



基本構想では、事業用地について「広域ごみ処理施設は、都市計画・アクセス・環境面等を検討し、諸条件が整っている下田市の既存施設の場所を候補地とし、今後実施する生活環境影響調査の結果を踏まえて決定する方針である」と、わずか3行で示しています。これでは事業用地選定について、多くの市民と合意形成を図ることは難しいと考えます。

事業用地選定の過程は正しかったか、選定した事業用地は将来にわたって適地といえるかについて、自治体運営

広域ごみ処理事業の用地選定・緊急質問／林地開発



【会議録】

をチェックする「監査型の質問」を行いました。
緊急質問／林地開発許可（静岡県知事権限分）の公表内容について

県が令和4年3月4日付けで公表した2つの林地開発許可は、下田市内を所在地とし、令和2年4月に市が「下田市自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に基づき、不同意を通知したものです。

今後の市政に重大な事態が生じる可能性があることから、県の審査過程における市の対応、許可に関する県から市への報告内容、今後の市の方針について問いました。

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

番号	2月臨時会・3月定例会議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊照志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
請願第1号	「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願	○	×	×	×	×	○	/	×	○	×	×	×	○	不採択
議第6号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第15号）	○	○	○	○	○	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
	令和3年度下田市一般会計補正予算（第15号）（修正案）	×	×	×	×	×	○	/	×	○	×	×	×	○	否決
議第22号	令和4年度下田市一般会計予算	○	○	○	○	×	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
議第25号	令和4年度下田市一般会計予算（修正案）	×	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	否決
	令和4年度下田市公共用地取得特別会計予算 ※1	○	○	○	○	×	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
発議第4号	南伊豆地域広域ごみ処理施設の事業用地選定について誠意ある対応を求める決議	○	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	否決

※1 旧下田グランドホテル跡地購入予算

※議長（滝内久生）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。



令和4年2月臨時会 3月定例会 審議結果

番号	議案名	審議結果
報第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第13号））	承認
報第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第14号））	承認
議第1号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第2号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第3号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
請願第1号	「核兵器禁止条約」批准を国会に求める意見書提出の請願	不採択
議第4号	下田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第5号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第6~9号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第15号）【他3会計補正予算】	原案可決
議第10号	下田市指定金融機関の指定について	原案可決
議第11号	下田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第12号	下田市特別職の常勤職員給与支給条例の特例に関する条例の制定について	原案可決
議第13号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第14号	下田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第15号	下田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第16号	下田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第17号	下田市立老人憩の家設置管理条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第18号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第19号	下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第20号	令和3年度下田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議第21号	令和3年度下田市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議第22~31号	令和4年度下田市一般会計予算【他9会計予算】	原案可決
発議第1号	ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻に抗議する決議	撤回
発議第2号	ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻に抗議する決議	原案可決
発議第3号	下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について	原案可決
発議第4号	南伊豆地域広域ごみ処理施設の事業用地選定について誠意ある対応を求める決議	否決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査について	

発行 下田市議会
編集 下田委員会
住所 下田市東本郷一丁目5番18号

TEL 0558-22-2220
FAX 0558-27-1511
E-mail: gkajimu@city.shimoda.lg.jp

表紙写真の紹介

■ 撮影者 ■



静岡県立下田高等学校
32HR 杉本 優羽 さん

エメラルドグリーン
の海、洞窟の先から
差し込む太陽の光、
そびえ立つ崖が美し
いと感じました。



撮影場所
下田市田牛 龍宮窟にて

編集後記

コロナウイルス感染拡大や、ロシアのウクライナ侵攻が、世界の経済はもとより、下田市の経済にも大きく影響を及ぼしています。

これは、グローバル化が進んでいる世界に生きている我々には、避けられない問題であり、今後も変化していく世界の情勢を見据え、下田市の未来をどのように拓いていくかが、私達に問われています。

下田市では令和4年度から「グローバルCITYプロジェクト」が始動しました。

地球規模の視野と草の根の地域の視点で未来を拓く人材が育つことを期待します。（鈴）

広報委員会
委員長 江田邦明
副委員長 中村 敦
委員 鈴木 孝 佐々木清和 進士濱美

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記（欄外記載の連絡先）までお寄せください。



● この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
● この広報誌は、再生紙を使用しています。

議会HP

